

支部ニュース 300 号！

今後も投稿などご協力をお願いします

北阪神支部長 中井 通治

今回の 2019 年 11 月 25 日付をもって、北阪神支部ニュースは 300 号を迎えました。これもひとえに会員の皆様のおかげです。

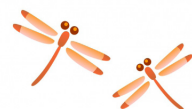
世の中、テレビをつければ、膝、腰痛に効くサプリ、アンチエイジング化粧品の広告など、老人相手の商品の CM ばかり。他人事だと思っていた自分も、いつの間にかそのど真ん中にどっぷりと浸かっていることにビックリしています。職員に「心は少年だ」と言っても通じません。

しかし、アンチエイジングが好きな私には、心だけでも若く保ったほうが、鬱々としなくて良いと考えています。

老健施設には幼稚園を併設してはどうでしょう。老人の**経験**と子どもの**若さ**はベストマッチします。将来、iPS 細胞、ロボット、AI (人工知能) が手助けをしてくれると期待しています。

認知症の薬は今のところ効いていないとも聞きます。**よく寝て、よく食べて、よく動く**、が大切です。これは赤ちゃんにできて、老人にはできないのです。皮肉なものです。

みんなが協力して一生懸命やれば、何事もできると今回のラグビー日本代表の監督は言っています。今後も支部ニュース充実のために投稿やご意見などどうぞお寄せ下さい。



幹事会だより

第 387 回 11 月 7 日 (木) 宝塚市中央公民館 参加 5 人

◆北阪神支部の会員数と組織率

11/7 現在 医科 354 人 (75%)、歯科 202 人 (61%)

◆情勢と医療運動対策

指定難病医療費助成制度で「軽症」とされた難病患者を同助成の対象とするよう国への意見書提出を求める請願書の取り組みについて、支部役員から地元議員の紹介があった。

◆当面の支部活動

新春政策研究会

日 時 1 月 18 日 (土) 16 時～ 於・がんこ宝塚苑

テーマ 「消費税増税と狙われる社会保障改悪」

講 師 加藤擁一先生 (協会副理事長、政策部長)

◆次回幹事会

12 月 5 日 (木) 14 時 30 分～ いたみホール

お問い合わせは TEL 078-393-1805 有本・小川まで

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2019 年 11 月 25 日号 No.300

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階

☎ (078) 393-1801 FAX (078) 393-1802

http://www.hhk.jp/

北阪神支部総会記念講演「自分で決める、子宮頸がん予防 HPV ワクチン」

ワクチン接種の判断 医師として正しい情報伝えたい

宝塚市・良元診療所 脇野 耕一



村中先生 (上) がワクチンに関する正しい情報を得ることが重要だと訴えた



支部は、11 月 4 日に第 34 回支部総会を宝塚ホテルで開催し、2018 年度の会務報告、2019 年度の方針の確認、2019 ～ 20 年度の支部役員、医科評議員を選出した。記念講演として医師・ジャーナリストの村中璃子先生が「自分で決める、子宮頸がん予防 HPV ワクチン」をテーマに講演し、会員や学校教諭、自治体職員など 47 人が参加した。参加した脇野耕一先生の感想文を紹介する。

日本では子宮頸がんが毎年 3,000 人が亡くなり 1 万の子宮が失われている。世界初のがん予防ワクチンとして開発された HPV (ヒトパピローマウイルス) ワクチンは、WHO も強く接種を推奨し、約 140 カ国で使用、約 80 カ国で定期接種となっている。

(次のページに続く)

(前のページから)

日本も 2013 年に定期接種化したのが、わずか 2 カ月後の 6 月、関節の痛みや体の不調を訴える女性が相次いだことから、厚生労働省は安全性を理由に、H P V ワクチンを定期接種に定めたまま「一時的に積極的勧奨を停止する」と決定し、事実上の接種停止に陥っている。

2016 年 7 月、「被害者」から国と製造企業 2 社を相手取った集団提訴・国家賠償請求訴訟(国賠) が起こされ、接種再開は一層困難になっている。また、2017 年 7 月にはコロンビアで世界 2 番目となる子宮頸がんワクチンの国賠訴訟が起こされ、世界にワクチン不安が広がりつつある。WHO は「ワクチン忌避」を 2019 年における「世界的な健康に対する脅威」のトップ 10 のうちの 1 つに選んだ。

村中先生は、ワクチン接種の決定に必要な正しい知識と情報を共有するというスタンスで、本庶佑先生がノーベルレクチャーで語った H P V ワクチン接種の現状への憂慮を紹介した。

また、名古屋市立大学が実施した「名古屋スタディ」では、関節や体の痛み、簡単な計算ができないといった症状のうち、ワクチン接種者に有意に多い項目はなかったと報告された。一方、ワクチンと副反応の因果関係を証明したという医師から、村中先生が名誉棄損で訴えられた裁判の真相を紹介し、サイエンスよりも感情を優先する政府、事実を正確に報道しない大手メディアの現状について問題提起をいただいた。

日本産婦人科学会はワクチン積極的勧奨再開を求め、ホームページでわかりやすい解説を提供している。自治体によっては、姫路市を含む全国 96 自治体が独自に積極的に対象者への通知を行っているを紹介。フロアからも自院での取り組みが報告された。

講演を聞いて、医師として、会員としてワクチン接種の判断材料となる正確な情報を患者に伝えることが重要だと感じた。

兵庫県保険医協会 北阪神支部総会 選出役員

(地区・医科歯科別、五十音順、敬称略)

■支部役員

支部長	1 人	中井 通治 (宝塚市)		
副支部長	4 人	林 宗茂 (伊丹市)	脇野 耕一 (宝塚市)	
		川村 雅之 (伊丹市・歯科)	西山 茂樹 (伊丹市・歯科)	
幹事	12 人	太田 威彦 (伊丹市)	大森 英夫 (伊丹市)	城田 勲 (伊丹市)
		竹内 重人 (伊丹市)	谷口 紀善 (伊丹市)	上り口晃成 (伊丹市・歯科)
		工藤大八郎 (伊丹市・歯科)	多田 和彦 (伊丹市・歯科) (新)	
		明渡 寛 (宝塚市)	澤村 新 (宝塚市)	高島 俊永 (宝塚市・歯科)
		島津 俊二 (川西市・歯科) (新)		
顧問	1 人	小泉 勇 (伊丹市) (新)		

■評議員・予備評議員 (医科)

評議員	4 人	大森 英夫 (伊丹市)	城田 勲 (伊丹市)	谷口 紀善 (伊丹市)
		明渡 寛 (宝塚市) (新)		
予備評議員	1 人	太田 威彦 (伊丹市)		

兵庫県保険医協会北阪神支部 < 2 0 1 9 年度方針 >

- 1 医療・社会保障制度の充実と、公的医療保険制度の拡充・矛盾点の改善を目指し、地域間の情報交換や情勢討議、会員・市民と対話する企画の充実をはかる。
- 2 「社会保障・税一体改革」に基づく社会保障切捨て施策の実行を阻止するために、地区医師会など他団体との懇談、交流を推進する。
- 3 老人会や自治会との語り合う会を開催し、予防医学的な健康増進の話とあわせて、医療改悪の実態を住民に広く知らせていく。ワクチンに関しても、エビデンスにもとづく情報を提供する。
- 4 会員拡大は、新規開業医を中心に組織率を上げていき、協会平均をめざす。また、支部活動活性化のため、医科・歯科若手役員の確保に努める。特に、川西市・猪名川地域での支部幹事発掘に努める。
- 5 在宅医療研究会、臨床研究会などを開催し、地域医療の連携をはかるとともに、医科・歯科一体の活動を強め、共通するテーマで研究会を開催する。
- 6 職員接遇研修会、医療安全管理対策研修会などをスタッフ研修の一環として開催する。
- 7 医院経営問題など、会員が共通するテーマでの会員懇談会を開催し、自由にディスカッションできる場をもつ。
- 8 会員や家族、従業員が気軽に参加できる、文化行事を企画する。
- 9 支部ニュースは、会員投稿コーナーなど内容の工夫もしながら、読まれる交流紙として紙面の充実をめざす。
- 10 社会保障をよくする伊丹の会・同宝塚の会に役員・事務局とも参画していく。
- 11 医療団体として、戦争反対や核兵器廃絶などの平和を守る各地の取り組みに協力する。
- 12 事故となれば重大な健康被害を及ぼす可能性のある原子力発電から自然エネルギーへの転換を求める。
- 13 医療には消費税ゼロ税率を適用することで、医療機関の「損税」問題を解決し、患者負担のない完全な非課税化を求める。

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451

Web site でも
ご覧いただけます



< 12 月のテーマ >

月曜日	白内障手術の前後で注意すること	木曜日	めまい、ふらつきはなぜ起こるの？
火曜日	糖尿病と歯周病の関係について		どうすればいいの？
水曜日	足首の捻挫	金土日	うつ病の家族を支えるために

祝日は前日の放送が流れます。都合により、テーマの一部を変更する場合があります。
12 月のテーマは 26 日 (木) まで放送します。年末年始は「禁煙のススメ」を放送します。